

筑後・佐賀平野における 地盤沈下等の状況について

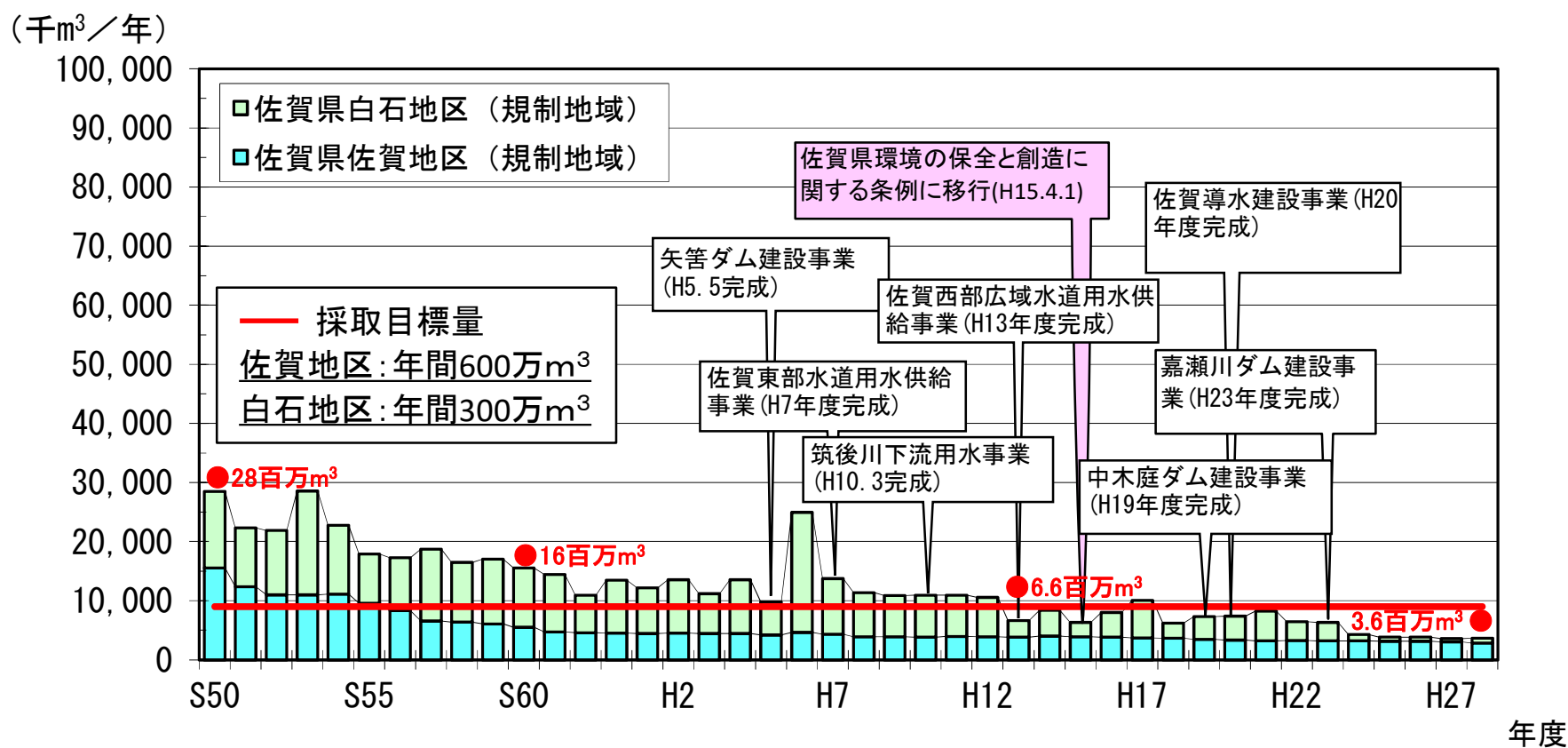
令和2年2月
国土交通省 水管理・国土保全局 水資源部

1. 地下水採取量の経年変化

筑後・佐賀平野

年間の地下水採取量は、地盤沈下防止等対策要綱による総合的な対策（地下水採取規制に係わる条例の施行、代替水源の確保、代替水の供給事業等の完成など）によって、各地域の地下水採取量は減少。

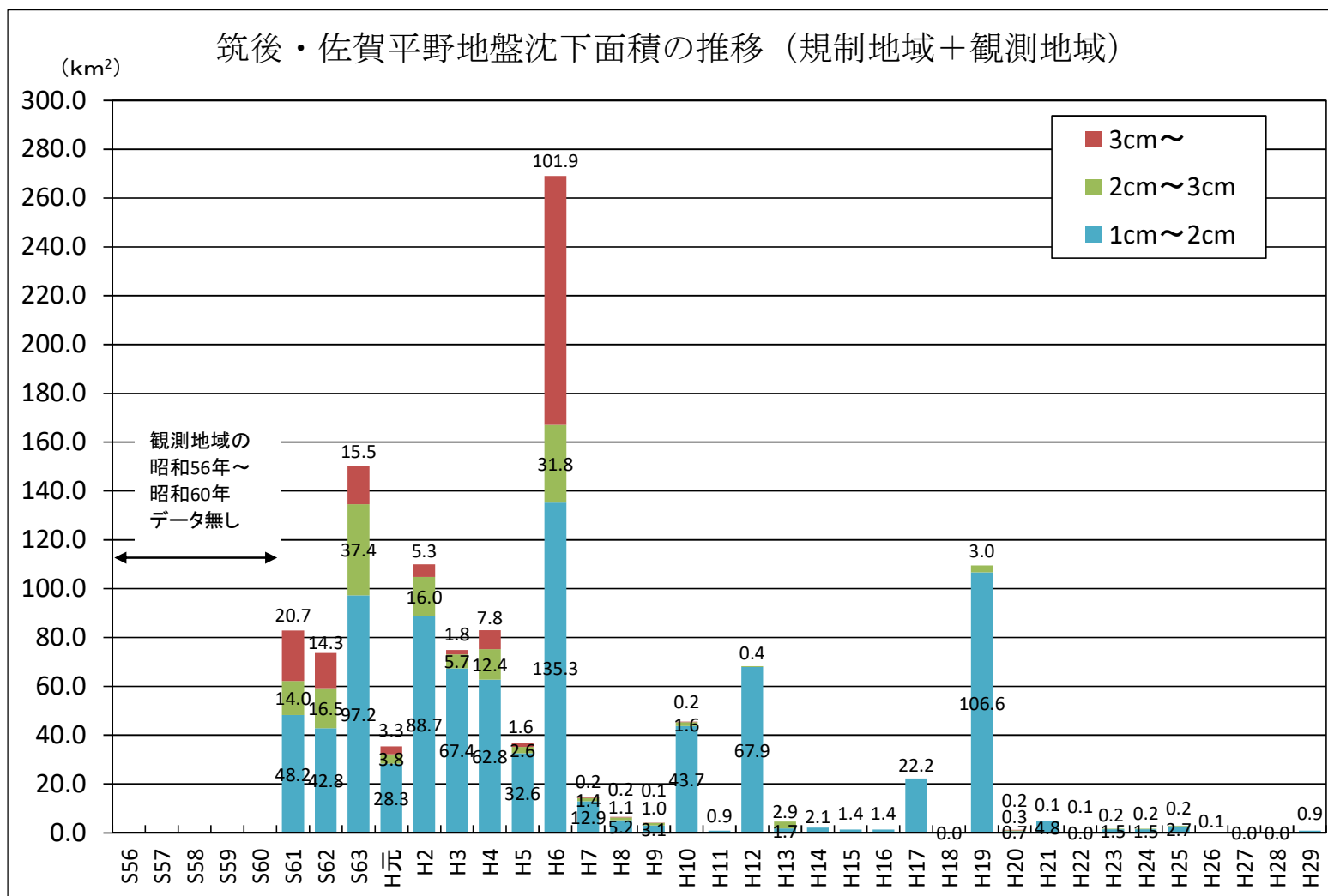
県別地下水採取量の推移（規制地域）



2. 地盤沈下面積の経年変化

筑後・佐賀平野

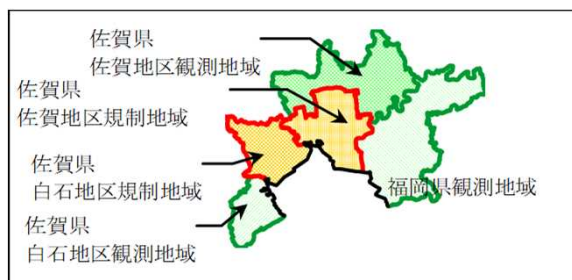
データのある昭和61年以降、地盤沈下面積は減少傾向にあり、平成20年以降の年間1cm以上の地盤沈下面積は5km²未満である。ただし、湯水であった平成6年には地盤沈下面積が増加した。



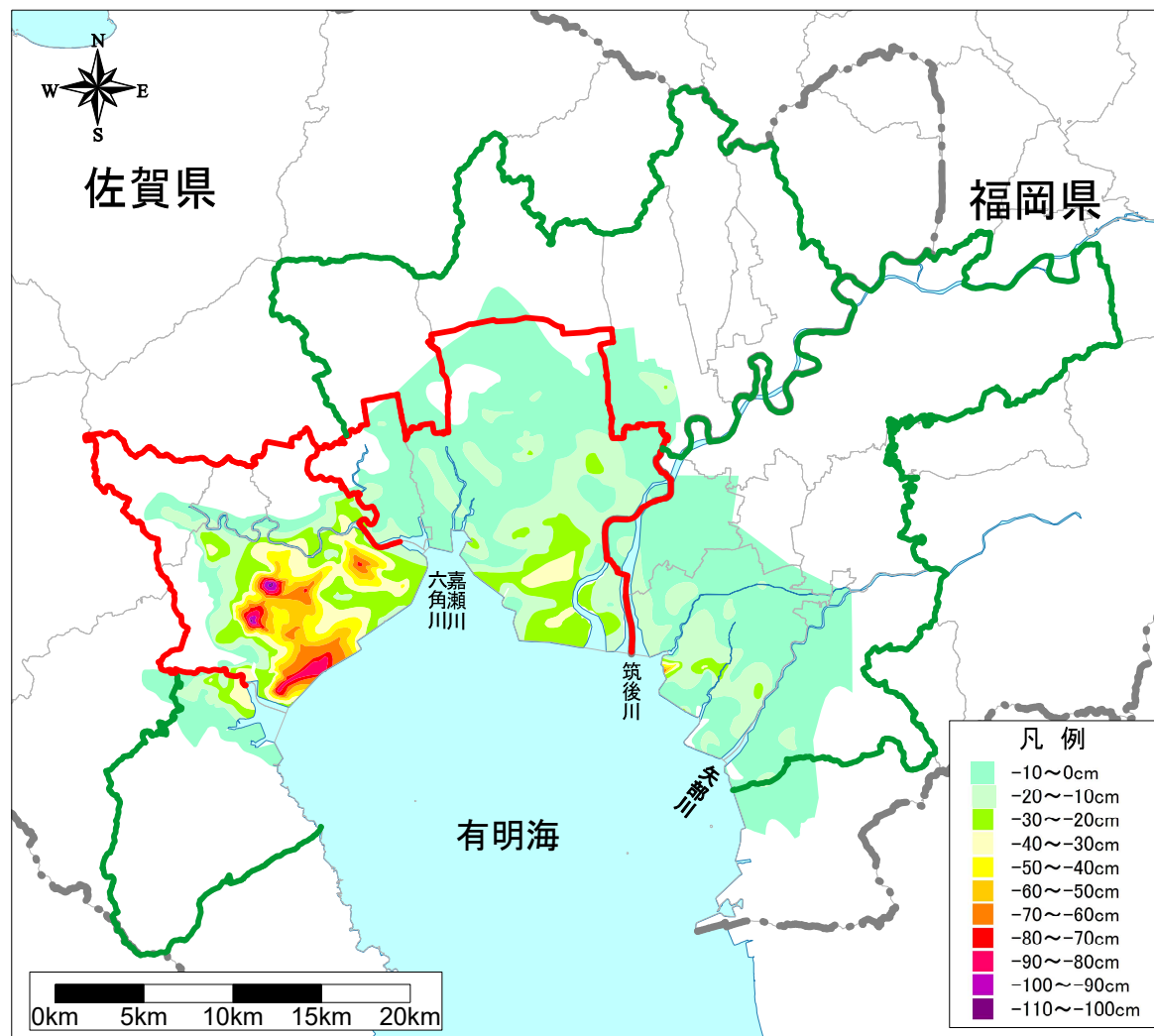
3. 地盤沈下の状況

筑後・佐賀平野

佐賀県白石地区(規制地域)では、昭和47年以降の累積地盤沈下量は最大1m以上に達する。
福岡県観測地域では、海岸付近の狭い範囲で、昭和60年以降の累積沈下量は約1mに達した。



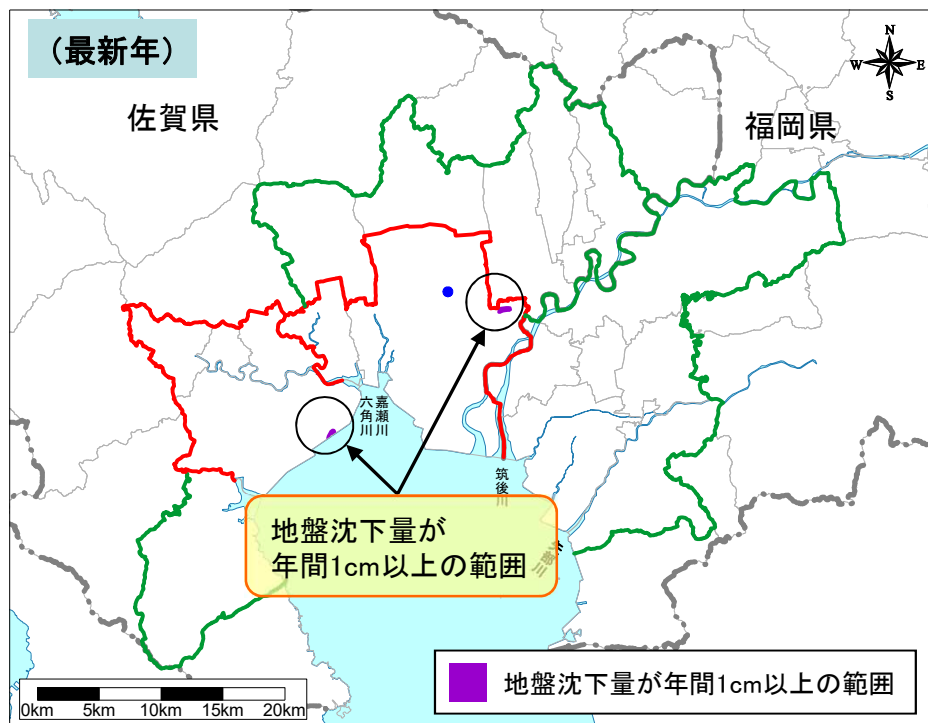
累積沈下量等量線図
佐賀県累積沈下量分布図
(昭和47年2月1日～平成29年2月1日)
福岡県累積沈下量分布図
(昭和60年3月1日～平成29年2月1日)



3. 地盤沈下の状況

筑後・佐賀平野

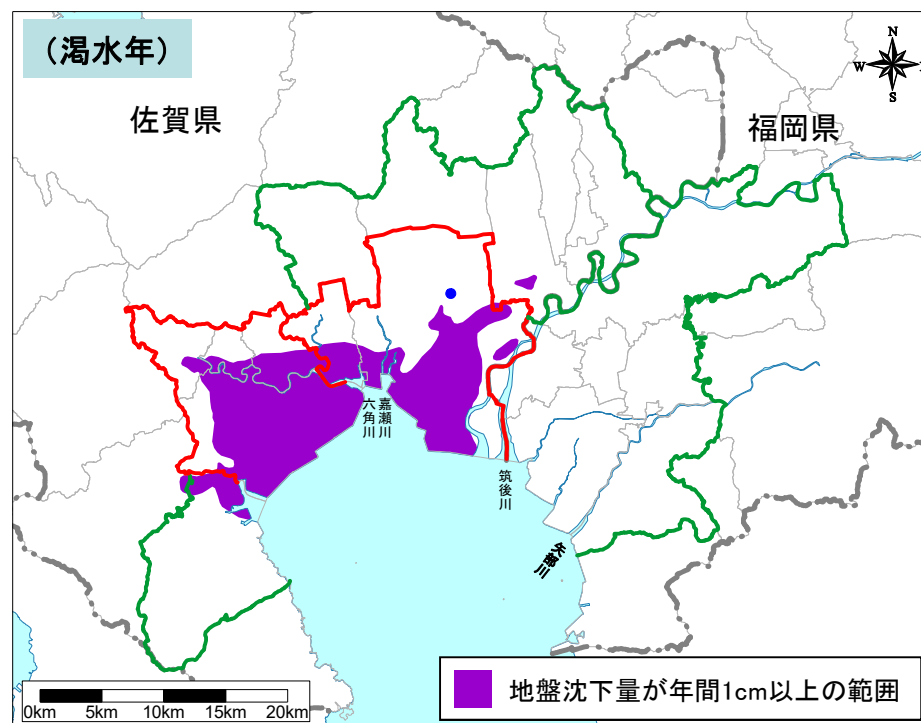
佐賀県佐賀地区(規制地域)、白石地区(規制地域)では、平成29年～平成30年の1年間で年間1cm以上の地盤沈下の範囲は計0.9km²であった。ただし、渇水であった平成6年には地盤沈下面積が増加した。



●: 佐賀気象観測所

年間降水量: 1,635mm(佐賀)

地盤沈下量が年間1cm以上の範囲図
(平成29年2月1日～平成30年2月1日)



●: 佐賀気象観測所

年間降水量: 1,014mm(佐賀)

地盤沈下量が年間1cm以上の範囲図
(平成6年2月1日～平成7年2月1日)

3. 地盤沈下の状況

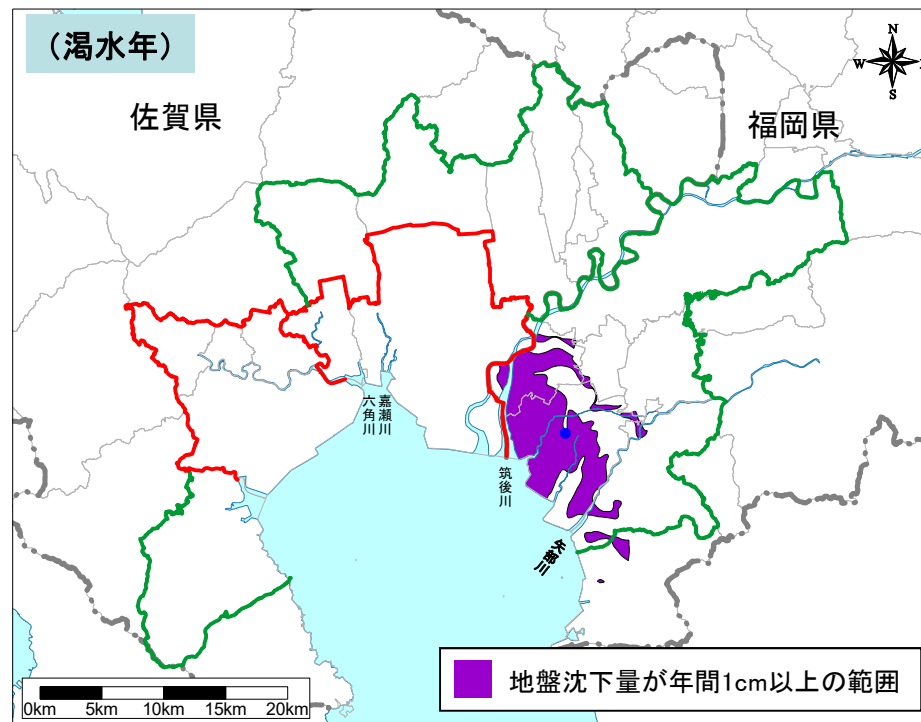
筑後・佐賀平野

福岡県観測地域では、平成29年～平成30年の1年間で年間1cm以上の地盤沈下の範囲は無かった。ただし、渇水であった平成6年には地盤沈下面積が増加した。



● : 柳川気象観測所

年間降水量 : 1,543mm (柳川)



● : 柳川気象観測所

年間降水量 : 843mm (柳川)

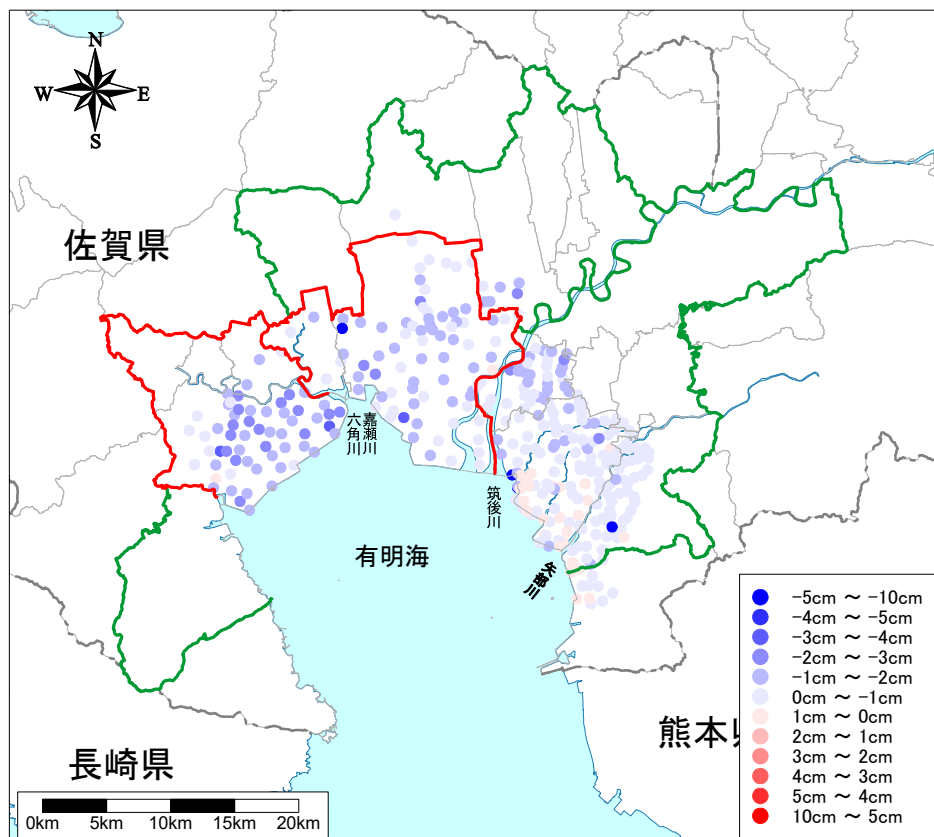
地盤沈下量が年間1cm以上の範囲図
(平成29年2月1日～平成30年2月1日)

地盤沈下量が年間1cm以上の範囲図
(平成6年2月1日～平成7年2月1日)

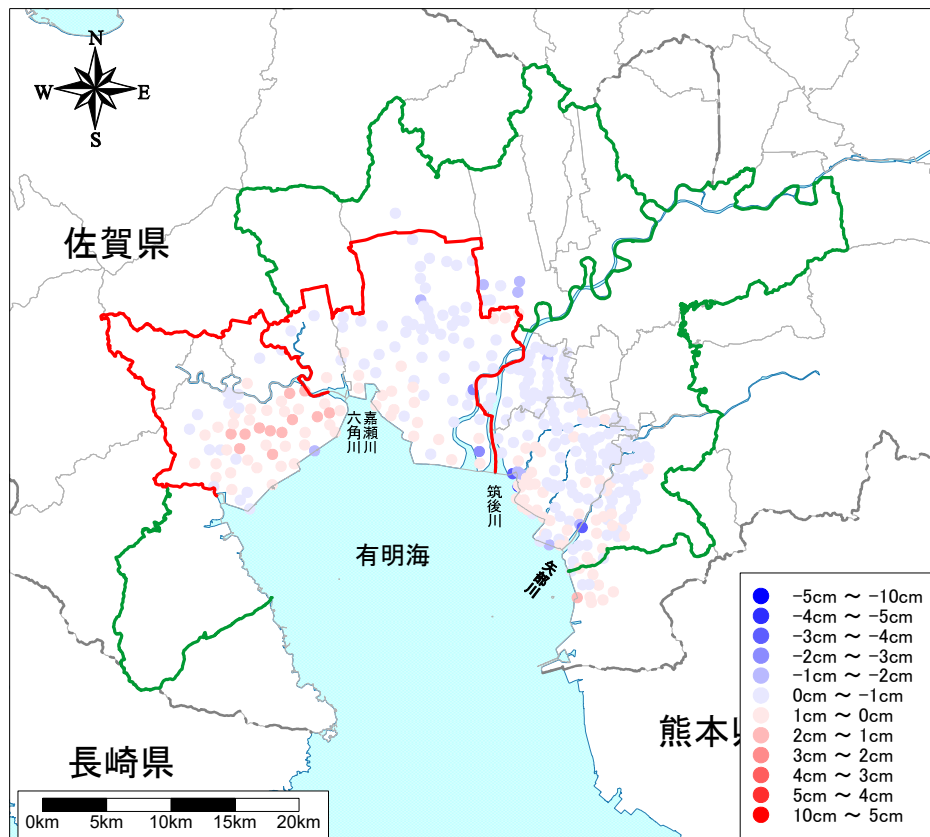
3. 地盤沈下の状況

筑後・佐賀平野

水準点ごとの5年間の累積地盤沈下量で見ると、地盤沈下が継続している。2つの時期を比較すると、近年の5年間では地盤沈下量は減少傾向にある。



5年間の累積地盤沈下量図
(佐賀県:平成19年2月1日～平成24年2月1日)
(福岡県:平成19年2月1日～平成24年2月1日)



5年間の累積地盤沈下量図
(佐賀県:平成24年2月1日～平成29年2月1日)
(福岡県:平成24年2月1日～平成29年2月1日)